

共通教育教養科目（学問分野別・主題探究型科目）シラバス登録の手引き

共通教育教養科目（1単位）をご担当いただき、ありがとうございます。

学問分野別科目と主題探究型科目につきましては、以下のような科目の趣旨に沿った授業計画を立てていただくよう、お願いします。また、**共通教育科目としてふさわしい内容やレベル**であることにも、ご留意ください。

○学問分野別科目

基本的には**大人数クラス（120～150人程度）**で、各学問分野のもの見方・方法論及び基本的知識を身に付けることを目的として、初めてその学問を学ぶ学生を対象に開講する。授業内容としては、**その学問分野全体を俯瞰する部分は必須である**が、もの見方・方法論等を提示するために、その中の特定の領域を取り上げて教授することも可能である。

○主題探究型科目

汎用的能力育成という視点から、演習形式や学生へのフィードバックを行う双方向型のレポートの活用等、可能な限りアクティブ・ラーニングを促すための手法を組み入れた50人程度の中規模クラスで開講する。**個々の授業では教員が探究主題（問い）を授業題目として設定する。これを基に学生が自ら学習課題を設定して、主体的に学習を行いながら課題を探究する。**

【シラバス記入要領】

授業題目

学問分野別科目では、主な話題となる分野・領域が分かるように授業題目を設定してください。主題探究型科目では、授業における探究主題（問い）を授業題目として設定してください。

授業の目的

授業の到達目標

学問分野別科目、主題探究型科目の趣旨に沿って、授業の目的、到達目標を記入してください。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／ 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

特に関係すると思われる1～2項目をチェックしてください。

授業概要

○学問分野別科目

150人程度の、初めてその学問を学ぶ受講生を想定してください。

授業において学問分野全体を広く見渡す（俯瞰する）ことを記載してください。例えば、その学問分野がどのような領域から成り、何を扱うのか、具体的に解説して下さい。「生活科学入門」のような総合分野では、学問分野の代わりとなるテーマを設定し、それに基づいて俯瞰しても構いません。

これに加え、個々の領域を取り上げて、学問分野における位置づけなどを解説することも効

果的です。広い観点（学問分野）から各論（領域）に入り、それを具体的に学ぶことで、立ち返って学問分野におけるものの見方・方法論を学修しようというのが、当科目の趣旨です。

○主題探究型科目

50人程度の受講生を想定してください。

授業における探究主題（問い）を基に、学生が自ら学習課題を設定できるように配慮してください。また、汎用的能力育成という視点から、**アクティブ・ラーニングを促すための手法を組み入れてください**。シラバス入力画面では以下の手法がリストアップされますので、主要なものを1～3個選択してください。

〈主題探究型科目におけるアクティブ・ラーニングを促すための手法〉

Problem Based Learning / Project Based Learning

調査

フィールド・ワーク

実習

実技

実験

ロール・プレイング / シミュレーション

ペア・グループワーク

ディスカッション / ディベート

プレゼンテーション

双方向型演習

受講条件

学問分野別科目は、初めてその学問を学ぶ受講生を想定しています。また、主題探究型科目は汎用的能力育成を目的としています。これらの科目では「**受講条件**」を記入しないでください。

※以下のホームページで、教養科目シラバス登録の手引き（本書）、アクティブ・ラーニングを促すための手法の解説、シラバス例等が参照できますので、ご活用ください。

「共通教育教養科目シラバス登録について」

<http://web.iec.ehime-u.ac.jp/syllabus.html>